

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表:令和 5年 11月 17日

所名 こぼんはうすさくら 八幡西吉祥寺町教

保護者等数(児童数) 20 回収数 17 割合 85 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	1		1	十分にスペースは確保されています。利用される児童の人数、また高学年以上の子どもと低学年の子どもが同日利用となると狭く感じる事がある。	子どもが怪我等する事なく活動できる空間作りを行っていきます。行動が把握出来る様に、支援員で観る目を増やしていきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	11	3		3	多くの先生が在籍しているので充分です。手をとる子どもが居て、先生がつきっきりの状況となると、見守りする先生が手いっぱいになる。	基本的には保育士が児童指導員の資格を有しており、おおむね児童2人に1人程度職員を配置しています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	16			1	特に気になっていることはありません。	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	14	2		1	子どもと保護者のニーズに合わせた計画書を作成している。支援計画で立てた支援が出来ているものもあれば、より全体的に見ると集団での支援に比べると個別支援が弱く見える。	子どもと保護者のニーズに合わせた計画書を作成していきます。自分の希望を上手く伝える事が出来ない子どもに対して、その子が何に困っているかを必要としているかを把握して、計画書を作成していきます。個別支援に対しても、全職員で取組んでいきたい。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	17				子どもが安全で楽しく行えるプログラムになっている。	毎月、職員で話し合い、活動プログラムに見直しや工夫に引き続き努めていきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	5		5	そういう機会も可能であればつけてほしいです。実際に耳にしていけないので、わかりません。	いろんな物や人に触れる機会を提供していきたいと思っています。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	1			利用の際に、説明は受けています。利用料等について細かい内容がわからないので、説明をして欲しい。	利用料金等に対しては契約時にお話しています。わからない方には再度説明する機会を設けたいと思います。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15	1		1	利用日の送迎の際にその日の様子を伝えてもらっています。もう少しお話をさせてもらう時間があれば嬉しいです。	利用の際、連絡帳にその日の様子を記載し、確認していただきます。送迎の際に子供の様子は伝えていきます。もう少し話す機会・時間を作り、共通理解を深めていきたいです。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	3		1	相談があった時に、面談の機会を設けていただいて、とても助かりました。	利用連絡や行事のお誘いの時に、お家や学校の様子を伝えていただいたり、お困りになっている事がないか等の確認を行っていきます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	5	3	5	コロナ過により、出来ていない。	感染症が収まり安全な環境状況であれば、機会を設けたいと考えています。また父母の方の意見も聴いていきたいです。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	3	1	1	直ぐに対応や相談にのっていただき、助かっています。	迅速に対応し、また同じ事が起きないように体制や整備に努めていきます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	3		1	送迎の際にお話をさせていただいたり、メールで必要な事を教えていただいで助かっています。	必要なコミュニケーションをこちらから行っていきます。連絡の際にも、お仕事の時間外で落ち着いて話せる時に連絡を行う等の配慮を行っていきます。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	4		2	普段の活動の様子や、お出掛け時の様子等、写真(HPや月報、個別LINE)に比べてお知らせが欲しいです。	写真等を掲載する場合には個人情報保護の点から必ず、家族の方に確認をし、承諾を頂いた方のみ行っていきます。またスタンプで個人が確定できない様にする等の配慮もご希望に沿い、行っていきます。
14 個人情報に十分注意しているか	15	2			問題ありません。	個人情報は鍵付き書庫で管理しています。十分に気を付けて、取り扱っています。	

非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	2	1	4	送迎時、車の中でよく蚊にさされている事があるので、車の中に置き型の虫除けを置いて対応して欲しいです。	車の中に置き型の虫除けを置いて対応させていただきます。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	2		1		毎月一回、避難訓練を実地しています。その都度、災害の種類や状況を変更して行っています。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	14	3			こぼんはうすへ行くことを楽しみにしています。他児や先生に会うことを楽しみにしています。好きな活動や、お出掛けもとても楽しみに通っています。	子どもが楽しみに来所出来る様に、プログラムを作成したり、支援に工夫をしています。
	18	事業所の支援に満足しているか	14	2	1		子どもが楽しく通所出来ており、満足しています。いつも楽しく過ごしているようで、とても嬉しく思っています。ありがとうございます。高学年の子どもと低学年の子どもの共存が難しい様に感じた。高学年の子どもに対しても出来る支援をしてほしい。	様々なお子様が来所してくれているので、ニーズに答えられる様に職員で努めていきたいです。高学年の子どもに対してニーズに沿ったサービス、活動をもっと取り入れていきたいです。
			229	42	6	27	75%	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

公表:令和 5 年 11 月 17日

事業所名 こぼんはうすくら 八幡西吉祥寺町教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1	国の設営基準を上回る児童一人当たり3m以上かつ死角のない指導員の目が届く1つのくうかんで集団療育を行えるスペースはあると思います。	不穏になった時に落ち着いて過ごしていただける居室があると良いと考えています。
	2 職員の配置数は適切である	7	1	児童10人に対して指導員2人以上という国の人員配置基準より増員した人員配置を常に行っています。加算人員もいます。理学療法士等の専門職を配置	人員基準は確実に満たしているが、個別に対応が必要な児童もいる為、スタッフがあと一人、二人いれば、もっと児童と密に関わりが持て、支援が行える。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7		遊具の収納や来所から身支度の導線などは児童がわかりやすいように写真等で視覚支援を行っています。	下肢筋力の低下がある児童に対して、身体の負担を減らせる椅子などがあってもいいかと思っています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		月に1度の職員会議を行っています。職員の能力向上に努めています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		アンケート結果を真摯に受け止めて、保護者様の意見も参考にし対応に努めていきます。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	2	前回の結果を職員間で話し合い、事業所のホームページで公開し	会報やホームページの事を知らない職員もいた為、周知していきま
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4		第三者委員会を行っていただける様に働きかける方針です。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	2	必要に応じて研修や本部からスーパーバイザーの派遣等により、職員の資質の向上を行っている。パソコン等を利用し、職員がいつでも研修動画を確認出来るシステムにしています。	外部で開かれている研修会等にも機会をみつけて参加していきたいと考えています。
適切な支援の	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	2	ご契約前の見学・体験時に保護者面接を行いニーズを把握したり、行動観察を記録し、個別支援計画を作成しています。また外部機関で記録された発達検査の結果等を保護者様より共有いただくことで発達状況を把握し、支援計画に活かしています。	保護者の方の意見だけでなく、こどものニーズもしっかり観察、把握して支援計画に活かしていきたいです。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		毎日の帰りの会の時に、SSTカードを用い応用行動に繋がるように取り組んでいます。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	7		月に一度の職員会議の時に職員で話し合い、プログラムの提案・検討・作成しています。	利用児童に適した、新しい活動プログラムの導入も考えていきたい
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		基本的に連日同じ活動にならない様に様々な活動を行っています	新しい活動プログラムの導入も考えていきたいです。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7		平日、休日でのプログラムを作成し、取り組んでいます。また遠出する活動なども行い様々な環境や文化に触れる事も検討して支援しています。	グループ分け、個別対応等も取り入れて、活動内容に取り組んでいきたいです。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7		児童の発達段階に応じて、個別の課題と社会性等の集団生活について作成しています。	

提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		朝礼の際にその日の流れ、役割分担、職員配置等の確認を行い、一日の支援について細かく話し合いをしています。全職員で話し合い、支援の確認、役割の確認も行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		終礼でその日の支援の振り返り、児童の様子、伝達事項を伝え情報共有を行っています。職員間での連携についても話し合っています。話しあった事を後日からの支援に活かしています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		記録についてはなるべくパソコンにデータ化し、職員が確認しやすくしています。特記等は連絡用携帯電話にメールをして、直ぐに確認出来る様にしています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7		常時、職員から情報収集を常に行い、最低でも半年に一度は見直しを行っています。職員会議で児童の様子について聞き取りを行い、サービス計画の見直しに活かしている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	7		生活動作や集団行動だけでなく、児童にとって憩いの場でもあるように心掛けて支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		開催される場合には、可能な限り児童発達支援管理責任者・管理者が参加しています。学校・病院に行き会議への参加も行っています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7		学校とは行事予定の確認や下校時刻の確認等を随時行い、情報共有、連絡調整を行っています。	学校によっては、行事予定や下校時刻の変更連絡が遅いところがある為、見落としがない様に連絡・確認を行って行きます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	1	現在該当児童の在籍はありません。※必要に応じて連携について保護者と相談しながら行います。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	2	児童によっては児童発達支援から放課後等デイサービスへ持ち上がりの子もいますので保育所等の情報交換でなるべく同じ方向性の支援を行い情報共有しています。	保育所、幼稚園、認定こども園との繋がりが少ない為、今後利用される児童がいた際は関係性の構築に努めて行きたいです。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	2	現時点で対象となる児童がいない為、行っていません。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2	センターやセンターに属する相談事業所等の情報共有を行うことがあります。ZOOM等で研修体制を整えたので今後感染予防の観点から遠隔での研修参加をひとまずは行って行きたいと思えます。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	4	感染予防の観点から行ってません。今後は状況次第では交流も検討します。	今後そういう機会があれば設けていきたいです。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	3	感染予防の観点から行ってません。今後は状況次第では交流も検討します。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		必要な情報に関しては随時、連絡を行って情報共有に努めています。基本は送迎時や連絡帳、お電話等で情報共有や情報収集を行うようにしております。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	2	感染予防の観点から現在は行っていません。今後は状況に合わせて実地を検討していきます。		

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		利用開始時に書面を用いてご説明をさせていただいています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		日頃から電話や送迎時に話す時間を設けています。内容を職員間で共有し支援方法について会議しています。	悩みを中々話せない保護者の方へはこらから話しやすい雰囲気や環境作りに努めて行きたいです。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	4	感染予防の観点から現在は行っていません。感染症の状況が落ちれば開催を検討します。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6		相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めています。苦情受付・解決担当者は重要事項説明書に記載し、契約時に説明しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	2	まだ会報等の発行は出来ていません。行事予定等につきましては毎月お知らせしています。ブログを開設して、こどもの様子を伝えています。	会報についても今後検討をしていきたいです。
	35	個人情報に十分注意している	7		個人情報については契約時に書面で同意をいただいております、個人ファイルについては鍵付きの書庫に保管しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		視覚支援を中心にを行い児童に情報が伝達しやすくなるよう対応しています。○×カードを使用したり、絵カード、写真を用いて、聴覚と視覚での情報伝達を行っています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	4	コロナウイルスの流行で地域住民を招待するようなイベントは取り組んでおらず、今後は地域の福祉施設を中心に交流を深めたいと考えています。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1	マニュアルについては職員会議にて対応方法等の確認を行っておりますが、周知・訓練や保護者への周知について充分でない部分もあり、改善に努めます。またマニュアルの見直しや変更も必要に応じて行っていきます。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		毎月一回災害の種類を変えて災害訓練を行っています。避難場所や避難経路の確認も定期的に行っています。	今後は消防署に来ていただき、練すること等も取り入れていきたい
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		虐待についての話を会議の時にしています。また動画にて虐待防止の研修を行っています。外部研修なども必要に応じて参加していきたいと考えています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7		身体拘束に関しては、【利用者又は他の利用者の生命又は身体を保護するため緊急でやむを得ない場合を除き、行動制限その他利用者の行動を制限する行為を行いません。】という内容を契約時に書面にて説明させていただいております。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		現時点で対象となる児童がいない為、行っていません。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		全職員が月に一枚以上の作成を行い、会議の際にその議案に対して皆で検討しています。	